

- 問1 中国山地と四国山地に挟まれた瀬戸内海沿岸の地域では、一年を通じて温暖で降水量が少ない気候が見られます。このような気候の特徴が生じる理由として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
1. 周囲を高い山に囲まれているため、冬に日本海側から流れ込む湿った空気が大雪をもたらすため
 2. 一年中安定した偏西風が吹くことで、季節による天候の変化や降水量の変動がほとんど起こらないため
 3. 夏はシベリア高気圧の影響で乾燥し、冬は太平洋を流れる寒流の影響で気温が上がりにくい
 4. 夏の南東季節風が四国山地に、冬の北西季節風が中国山地にさえぎられ、湿った空気が入りにくい
- 問2 中国地方5県の人口密度を示した統計において、密度が高いことを示す網掛けがなされている広島県、岡山県、山口県の地理的な共通点として適切なものはどれか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. すべて瀬戸内側に位置しており、交通や産業が発達している。
 2. すべて日本海に面しており、冬の積雪が非常に多い地域である。
 3. すべて山陰地方に位置しており、広大な平野を活用した農業が盛んである。
 4. すべて内陸の中国山地に位置しており、林業が主な産業となっている。
- 問3 四国地方の北部に位置する香川県の讃岐平野において、土地利用の大きな特色となっているものはどれですか。この地域の自然環境を踏まえて選びなさい。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 農業用水を確保するために、人工的に造られた「ため池」が数多く分布している。
 2. 冷涼な気候を利用して、レタスやキャベツなどの高原野菜の栽培が盛んに行われている。
 3. 成田国際空港があり、航空貨物の輸送や国際的な物流の拠点となっている。
 4. 自動車の生産額が全国1位であり、沿岸部に大規模な自動車工場が集積している。
- 問4 高知県ではなすの生産が盛んですが、東京市場におけるなすの卸売価格が「夏に安く、冬から春に高い」という傾向がある中で、高知県が冬から春に出荷を集中させている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
1. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため
 2. 高知県の冬の寒冷な気候を利用して、時間をかけてゆっくりと育てることで、なすの品質を向上させるため
 3. 夏は台風の被害を受けやすいため、あえて価格の安い冬から春の時期に生産時期をずらして安定供給を図るため
 4. 冬から春はなすの需要が大幅に減少するため、供給量を増やすことで市場価格をさらに下げ、消費を拡大させるため
- 問5 中国・四国地方を「日本海に面する地域」「瀬戸内海に面する地域」「太平洋に面する地域」の3つに区分したとき、鳥取県が分類される地域の説明として最も適切なものを選びなさい。（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. 兵庫県から広島県にかけて続く、大規模な工業地帯が形成されている地域。
 2. 本州と四国の間に広がる波の穏やかな海に面し、交通網が発達した地域。
 3. 四国山地の南側に位置し、黒潮の影響で年間を通じて温暖多雨な地域。
 4. 中国山地の北側に位置し、冬には雪が降りやすい日本海側の地域。
- 問6 香川県の讃岐平野では、「大池」や「新池」といった名称の池が平野部に数多く散在しています。これらの池は「ため池」と呼ばれますが、この地域でため池が古くから多く作られてきた理由として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 茨城県公立入試 類似）
1. 中国山地と四国山地に挟まれて季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく、農業用水が不足しやすいから。
 2. 標高が海面よりも低い土地が多く、高潮による塩害を防ぐために真水を蓄えておく必要があったから。
 3. 大規模な河川が平野部を流れておらず、雪解け水を利用することができないため、地下水を汲み上げる必要があったから。
 4. 年間を通じて台風の通り道に当たり、一時的な豪雨による洪水被害を防ぐための遊水地として機能させる必要があったから。
- 問7 鳥取県付近から南下し、岡山県・香川県付近を通過して愛媛県方面へと向かうルートを移動する際に観察できる、中国・四国地方の景観の移り変わりとして最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
1. 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観
 2. 雪の多い山岳地帯から、ビニールハウスによる促成栽培が盛んな平野を通り、真珠の養殖筏が並ぶ入り江へ続く景観
 3. 広大な干拓地から、日本有数の製鉄所が並ぶ工業地帯を通り、太平洋に面した茶畑へ続く景観
 4. リアス海岸が続く沿岸部から、巨大なカルデラをもつ火山群を越え、シラス台地の広がる平野へ続く景観
- 問8 四国地方の愛媛県における農業産出額の構成には、他の都道府県と比べて際立った特徴があります。統計資料において、産出額全体の約3割を占め、愛媛県が全国有数の産地として知られている品目はどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 米
 2. 果実
 3. 野菜
 4. 畜産
- 問9 本州四国連絡橋の各ルートと、それらが結ぶ都道府県の組み合わせとして、適切なものはどれですか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
1. 神戸・鳴門ルート — 大阪府と徳島県
 2. 瀬戸大橋ルート — 兵庫県と香川県
 3. 尾道・今治ルート — 山口県と愛媛県
 4. 児島・坂出ルート — 岡山県と香川県
- 問10 兵庫県神戸市と淡路島を結ぶ世界最大級の吊橋である明石海峡大橋の開通によって、徳島県と関西圏間の交通は劇的に変化しました。この橋が1998年に開通した後の統計で見られる、正しい変化を選びなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 淡路島を経由する鉄道が開通したため、大阪方面への通勤・通学者の輸送人数が増加した。
 2. 200万人以上いたフェリー・旅客船の輸送人数が、数年で50万人以下へと激減した。
 3. 神戸・徳島間のフェリーの所要時間が短縮されたことにより、旅客船の輸送人数が過去最高を記録した。
 4. トラック輸送のコストが上昇したため、貨物船による物資の輸送人数が大幅に増加した。
- 問11 香川県を含む四国地方では、本州四国連絡橋の整備によって地域経済や人々の生活が大きく変化しました。1980年代後半以降、香川県への観光客の交通手段が船舶から自動車へと劇的にシフトした最大の要因として、最も適切な記述はどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）
1. 高松空港の整備により、全国からの航空路線の便数が増えたため
 2. 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため
 3. 鉄道の高速化が進み、寝台特急などの利用者が増えたため
 4. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐため、定期船の運航が全面的に廃止されたため
- 問12 四国地方の東部に位置する徳島県の産業構造において、統計資料上、就業者割合が25.3%と高い数値を示し、全国平均と比較しても盛んであるといえる産業分野はどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 都市機能の集中による情報通信業
 2. 果樹栽培や水産業を主体とする農林水産業
 3. 化学工業などの分野を中心とした製造業
 4. 観光資源を活かした宿泊・飲食サービス業

答え合わせ・解説

問1	答え 4 夏の南東季節風が四国山地に、冬の北西季節風が中国山地にさえぎられ、湿った空気が入りにくい	瀬戸内海沿岸の地域は、北側を中国山地、南側を四国山地に囲まれています。夏に太平洋側から吹く湿った季節風は四国山地で、冬に日本海側から吹く湿った季節風は中国山地でそれぞれ遮られ、山を越える際に雨や雪を降らせます。その結果、瀬戸内側には乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて降水量が少なく温暖な気候となります。
問2	答え 1 すべて瀬戸内側に位置しており、交通や産業が発達している。	広島県、岡山県、山口県の3県は、いずれも瀬戸内海に面した「山陽（瀬戸内）」と呼ばれる地域に属しています。この地域は、古くから海上交通の要所であったことに加え、山陽新幹線や高速道路などの交通網が整備されています。そのため、瀬戸内工業地域などの工業集積が進み、都市が発達して人口密度が高くなっています。一方、白い空白（低密度）で示される島根県と鳥取県は、山陰地方に位置しています。
問3	答え 1 農業用水を確保するために、人工的に造られた「ため池」が数多く分布している。	香川県が含まれる瀬戸内地域は、四国山地と中国山地に挟まれているため、季節風の影響を受けにくく、年間降水量が少ないという特徴があります。そのため、水不足を解消し、農業（稲作など）に必要な水を確保するために、古くから「ため池」が数多く作られてきました。成田国際空港は千葉県、自動車の生産額1位は愛知県、高原野菜の栽培は長野県や群馬県の主な特色です。
問4	答え 1 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため	高知県は黒潮（日本海流）の影響で冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「促成栽培」によって、本来の収穫時期よりも早い冬から春になすを出荷しています。市場では供給が減るこの時期に卸売価格が高騰するため、そのタイミングを狙って出荷することで、農業経営の安定と高収益化を実現しています。
問5	答え 4 中国山地の北側に位置し、冬には雪が降りやすい日本海側の地域。	鳥取県は、中国地方を細分化した際の「山陰」にあたります。山陰地方は日本海に面しており、冬に湿った北西の季節風が中国山地にぶつかるため、雪や雨が多い気候特性を持ちます。これに対し、広島県や香川県が属する瀬戸内海沿岸の地域は、山地に挟まれているため年間を通じて降水量が少なく、温暖な気候が特徴です。
問6	答え 1 中国山地と四国山地に挟まれて季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく、農業用水が不足しやすいから。	讃岐平野が位置する瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しています。夏は太平洋側からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海側からの湿った季節風が中国山地に遮られるため、年間を通じて雨や雪が少なく、乾燥しやすい「瀬戸内の気候」となります。そのため、稲作などに必要な農業用水を安定的に確保する目的で、人工的に水を蓄える「ため池」が数多く作られました。
問7	答え 1 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観	中国・四国地方を北から南へ横断する場合、まず日本海側（山陰）では鳥取砂丘に代表される海岸地形が見られます。次に中央部の瀬戸内海沿岸（瀬戸内）へ進むと、波の静かな環境を活かした石油コンビナートなどの重化学工業地帯や、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋が位置しています。さらに南下した四国（南四国）の愛媛県などでは、温暖な気候と傾斜地を活かしたミカン栽培が盛んであり、ミカン畑の広がる景観が特徴です。
問8	答え 2 果実	愛媛県は瀬戸内海の温暖な気候や、水はけの良い傾斜地といった自然条件を活かしたかんきつ類の栽培が非常に盛んです。そのため、農業産出額の品目別割合を見ると、全国的に高い割合を占めやすい米や野菜ではなく、果実が約30%以上に達するという、全国的にも珍しい構成になっています。
問9	答え 4 児島・坂出ルート ― 岡山県と香川県	本州四国連絡橋の「児島・坂出ルート」は、岡山県倉敷市児島と香川県坂出市を結んでおり、その中心となるのが瀬戸大橋です。「神戸・鳴門ルート」は兵庫県と徳島県を、「尾道・今治ルート」は広島県と愛媛県を結んでいます。大阪府や山口県から直接四国へ架かっている連絡橋はありません。
問10	答え 2 200万人以上いたフェリー・旅客船の輸送人数が、数年で50万人以下へと激減した。	本州四国連絡橋の神戸・鳴門ルートが完成したことにより、徳島県と関西方面の移動は自動車やバスが中心となりました。開通以前の1997年までは年間200万人以上いた海上交通の利用者は、開通の翌年以降に急激に減少し、2000年代には50万人を割り込む水準まで落ち込んでいます。これは、陸路の整備が既存の海上交通網に与えた影響の大きさを明確に示しています。
問11	答え 2 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため	1988年の瀬戸大橋開通は、香川県坂出市と岡山県倉敷市を陸路で直結させました。それまでは船舶による移動が不可欠でしたが、橋の完成により自動車（自家用車や観光バス）で直接四国へ渡ることが可能になり、交通の利便性が飛躍的に向上したことが、観光客の交通手段が変化した直接の理由です。
問12	答え 3 化学工業などの分野を中心とした製造業	徳島県は、京阪神に近い地理的条件や歴史的な背景から、化学工業や製菓業などの製造業が非常に発達しています。全就業者に占める製造業の割合は約4分の1に達しており、これは全国平均と比較しても高い水準にあることが、この県の産業構造の大きな特徴です。